

石川県立音楽堂開館25周年記念スペシャルコンサート

オーケストラアンサンブル金沢

ベートーヴェン／山本直純「変」曲
交響曲第45番「宿命」

◆ショスタコーヴィチ
オラトリオ「森のうた」Op.81
(日本語版)

管弦楽
オーケストラ・
アンサンブル金沢



岩城宏之(左)と
山本直純の青春期

森のうた

～岩城宏之没後20年メモリアル～



指揮
山田和樹

©Zuzanna Special



演出・出演
野村萬斎
(石川県立音楽堂芸術監督)

児童合唱
「森のうた」
児童合唱団

2006年11月5日「石川県立音楽堂開館5周年記念」

合唱
OEK合唱団
合唱
東京混声合唱団

©中村敏子

2026 10/22 THU 19:00開演(18:15開場)
木 石川県立音楽堂コンサートホール

18歳以下無料(同伴者半額)

チケット料金 [全席指定] S席 8,000円/A席 6,000円/B席 4,000円

チケット発売日
●一般:7/22(水)10:00～
●OEK定期会員・邦友会:7/18(土)10:00～

OEK定期会員・邦友会
10%割引

◎主催:(公財)石川県音楽文化振興事業団 ◎協賛:レンゴー株式会社 ◎後援:北国新聞社

◎助成: 文化芸術振興費補助金 (令和8年度劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業)

託児ルームあります TEL076-232-8111 … 10/12(月)17:00までにお電話にてお申込みください。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※都合により内容に変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。

◎チケットのお求めは

石川県立音楽堂チケットボックス

TEL076-232-8632 窓口9:00-19:00 電話10:00-18:00
休館日7/13、8/12、9/14、10/19

●チケットぴあ(Pコード:329-083) ●ローソンチケット(Lコード:55024)
●セブンチケット(セブンコード:116-059) ●teket ……………

詳細・申込は
こちらより▶



開館25周年の感謝を込めて・・・

石川県立音楽堂は、オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)の本拠地として、伝統文化や邦楽、オペラ、バレエ、ダンス、演劇と様々な舞台の拠点として地域の皆様に親しまれながら開館25周年を迎えました。同時にOEKの創設音楽監督岩城宏之マエストロの没後20年を迎えます。

記念公演のテーマは「未来へ」

歴代のマエストロたち、世界的アーティスト、地域の人々によって彩られた音楽堂がこれから先もだれもが集い、共感する場所であり続けることを願って、未来への讃歌を発信致します。

山田和樹セレクション 一夜限りの特別プログラム

前半にお届けする山本直純の「宿命」はベートーヴェンのパロディ。石川県立音楽堂芸術監督の野村萬斎が、予想できない世界へと誘います。

後半の「森のうた」は、1949年にシヨスタコーヴィチが作曲した、第二次世界大戦で荒廃した国土を植林計画で復興させようというソヴィエト国民の建設的な姿を歌った作品。この作品は、岩城宏之と山本直純の青春期を描いた岩城自身の著書「森のうた」にも通じています。物語では、岩城・直純二人の若き音楽家が「どうしてもオーケストラを指揮したい!」そんな夢が叶ったフィナーレで、直純が指揮、岩城が打楽器を担当して、この「森のうた」が演奏されます。著書から溢れ出る音楽に青春をかけて生き抜く力強さと、オーケストラのこれからの未来をシンクロさせながら、野村萬斎芸術監督の語りと共にお届けします。

山田和樹率いる東京混声合唱団とOEK合唱団&公募が集まった石川の子どもたちの合唱、パンダには石川県ジュニアオーケストラメンバー他地元奏者も参加!

コサートホール
壮大な音楽が25周年を迎えた「箱」から響き渡ります。

指揮 山田和樹

Kazuki Yamada, Conductor

2009年第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。2012年～2018年スイス・ロマン管弦楽団の首席客演指揮者、2016/17シーズンからモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督、2023年4月からパームシム市交響楽団首席指揮者兼アーティストックアドバイザーを務め、翌年5月には同団音楽監督に就任。2026/2027シーズンよりベルリン・ドイツ交響楽団首席指揮者兼芸術監督に就任予定。日本では、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督、東京混声合唱団音楽監督兼理事長を務めているほか、2026年4月には東京芸術劇場 音楽部門芸術監督に就任した。



テノール 宮里直樹

Naoki Miyasato, Tenor

ウィーン国立音楽大学オペラ科で学び、輝かしい声と卓越した表現力で無類の活躍を遂げるテノール。『愛の妙薬』ネモリーノ、『仮面舞踏会』リッカルド、『ラ・ボエム』ロドルフ等で好評を博し、コンサートでもベートーヴェン『ミサ・ソレレムニス』、マーラー『大地の歌』等で高評を得る。「NHKニューイヤーパーコンサート」、「クラシック倶楽部」、「クラシックTV」、「題名のない音楽会」等メディアにも出演。第23回リッカルド・ザンドナーイコンクール第2位、第48回日伊音楽コンクール第1位及び歌曲賞、第10回東京音楽コンクール第2位(1位なし)及び聴衆賞、第34回出光音楽賞など多数受賞。



合唱 東京混声合唱団

The Philharmonic Chorus of Tokyo



1956年に創設された日本を代表するプロ合唱団。東京・大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ、ラジオへの出演を行っている。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた250曲を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品まで幅広く、各地の合唱団や青少年との合同演奏、指導者派遣、ワークショップ・解説付きコンサートも精力的に開催している。文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、レコード・アカデミー賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞などを受賞。毎年石川県立音楽堂にて合唱講座「未来へのメッセージ」を行っている。◆合唱指揮:伊藤 心

合唱 OEK合唱団

OEKとの共演のために結成された合唱団。OEK第500回定期公演「第九」に出演。◆指導:香田裕泰、表まり子

演出・出演 野村萬斎

Mansai Nomura, Director&Navigator

祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言ござる万座」主宰。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。石川県立音楽堂では、伝統芸能ラボ「船弁慶」「邯鄲」、メンデルスゾーン「真夏の夜の夢」等を演出している。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、坪内逍遙大賞など受賞多数。東京藝術大学・日本大学芸術学部客員教授。全国公立文化施設協会会長。



バス 加藤宏隆

Hiroataka Kato, Bass

東京藝術大学卒業後、渡米。ジョンス・ホプキンス大学ピーボディ音楽院、インディアナ大学ジェイコブズ音楽院にて学ぶ。日生劇場「後宮からの逃走」オスミン、東京二期会『バルジファル』グルネマンツ、『タンホイザー』ヘルマン、チョン・ミョンフン指揮東京フィル『ファルスタッフ』ピストーラ、セヴァスティアン・ヴァイグレ指揮読響『エレクトラ』『ヴォツェック』など数多くのオペラ公演で高評を得る。パッパ・コレグウム・ジャパンのメンバーとして国内外の公演・録音に参加。「第九」等のソリストとしても主要オーケストラの公演で活躍。NHK「リサイタル・パッショ」出演。二期会会員



管弦楽 オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa



1988年、岩城宏之が創設音楽監督(現永久名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約100公演を行っている。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティヴァルなど、音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス制を実施、多くの委嘱作品を初演、CD化している。メジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2022年9月より広上淳一がアーティストック・リーダーを務める。

◎公式ホームページ <https://www.oek.jp>

児童合唱「森のうた」児童合唱団

今公演のために公募で集まった県内の子どもたちによる合唱団。

◆指導:富澤裕、石川公美

レゴ

一つひとつの商品に込められた想いを
包み、守り、届けたい。
パッケージは社会や時代の変化の中で
さまざまな課題やニーズに
進化をしながら暮らしを支えています。
未来を見据えて。
暮らしをつつみ、明日をひらく。
パッケージのレゴです。

パッケージには、 使命がある。